



## 会長三期目を迎えて

会長 飯塚弘志

第119回定時代議員会において、医師会長に選出を頂きました。早いもので2期4年間はアツという間に過ぎ去った感じ。あらためて気の引きしまる思いの三期目を迎えます。何か年々緊張が高まっていく思いです。

この4年間、はたして諸先生の負託に十分に当たえたか、会員の声にしっかりと耳を傾けたか、己の会務執行に緩みはなかったか、常に謙虚であったか、スタッフをいつも信頼し続けたか、自分に問いかけてまいりました。

いつも己に言い聞かせていることは、常に想像力と創造力を失わずに持ち続けていくこと。これを失くした時は、惰性となり物事は衰退していくこととなります。

組織が変わらず発展していくためには、いつも変わらなければなりません。シュムペーターの言う創造的破壊が必要なのです。

新しい世紀を迎えて3年目、相変わらず政治と経済の混迷が続いております。失業者、自殺者は増える一方で経済不況は回復の兆しすらみえてきません。痛みに耐えてもその先に希望を持ってないのです。このような国民が安心して暮らすことのできない社会不安の時こそ、セーフティネットとしての社会保障が益々重要となってきます。

その基本である生命と健康にかかわる医療はしっかりと担保されなければなりません。

本年4月から実施予定の被保険者本人3割負担の凍結を求めて当会も種々積極的に活動をしてきました。衆議院で平成15年度の予算も通り、状況は極めて厳しいものです。しかし厳しければ厳しいほど頑張るしかないのです。

昨年4月の史上初の診療報酬マイナス改定は公

表以上の大幅なダウンをきたし、さらに10月の健保法改正の実施により、医療費の三要素、総件数の大幅なダウンをまねき医療費とくに入院外医療費二ケタの減少をきたしました。

これに追い討ちをかけるように、3割負担が実施されると受診抑制は益々大なるものとなり、その影響は図り知れません。

昨年の医療機関の倒産件数は47件で、件数、負債金額とも過去最悪のものでした。しかもその理由として今までは放漫経営によるものが多かったのが、医業経営不振によるものが目立ちます。この4月以降、大幅に増えることが懸念されます。

本年度の活動計画は平成15年度基本的活動方針の中で示しております。

第1に医の倫理の高揚であります。透明性と説明責任を果たし、患者が安全に安心して受けることのできる医療提供体制の確保が必要であります。また、保険医療等にかかわる不祥事を起こさないよう、自浄作用、自律作用を働かせることが強く求められます。

ドロッカーは言っております。プロフェッショナルとは“善いことをしているだけでは不十分で、善いことをうまくやらなければならない。”まさしくその通りであると思います。

第2として、対内、対外における広報・情宣活動の強化であります。一国の政治活動はスパイ活動に始まると言います。今は情報そのものの価値が益々たかまり、情報伝達の手段も種々発達してきております。情報を開示し、情報を共有化することによって、お互いが本当に理解し、納得するのである。

その効果は中々あがり難いことも事実でありま

す。しかし、あがらないからやる必要がないのではなく、あがらなくてもやる必要があると思います。

第3は情報メディアの活用を図っていきたい。総合情報システム推進委員会のワーキンググループの答申を頂きました。テレビ会議システムの活用により、各種の講習会、研修会、その他諸会議に要する時間と費用が初期投資以上に大幅に節減されることとなります。できるだけ早い時期に導入を図っていきたいと考えております。

第4に、執行体制をより機能的、効率的に活用

するため、部の新設、統廃合を行います。よりダイナミックにアクティブに執行してまいりたいものと思っております。もし予定通り活用しなかったら、いつでも変更します。朝令暮改にはやぶさかではありません。

以上の事項を重点的に、その他の任務も、着実に誠実に執行してまいりたいと固く決意をしているところであります。

どうか会員諸兄には以前と変わらぬご支持、ご鞭撻をさせていただけるよう心よりお願い申し上げます。御挨拶といたします。

### お知らせ

## 電子メールを利用している 会員への情報提供について －メールアドレスの登録－

◇情報政策部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会のダイヤルアップ接続登録者(hokkaido.med.or.jp)全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

なお、今回、他プロバイダの電子メールアドレスをご登録になれる会員には、もし、でき

れば本会のメールアドレス(hokkaido.med.or.jp)を取得(無料・ダイヤルアップ接続申込み)されるようお願い申し上げます。

### ●電子メールアドレスの登録方法

電子メールまたはFAXで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：

add@office.hokkaido.med.or.jp

・申込先FAX番号：(011)252-3233

### お知らせ

## 北海道医報ファイルの送付について

北海道医師会広報部では、北海道医報を整理・保存するためのファイルを作成しております。ご希望の向きは下記までご連絡下さい。無償にてお送りいたします。

記

申込先：北海道医師会事業第一課

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目

TEL(011)231-1725 FAX(011)252-3233

お知らせ

◇平成15年4月から  
社保診療報酬からの引去り（控除）は  
国保診療報酬へ変わります。◇

当会では、A会員（開業医会員）の会費などについて、社会保険ならびに国民健康保険診療報酬から引去り（控除）をしてきましたが、本年4月より、これを国保診療報酬から引去り（控除）に統合することになりました。

これにともない、引去り(控除)の通知方法が以下のとおり変更になりますので、お知らせします。

1. 社保診療報酬からの引去り

本年3月支払分の引去りをもって終了し、社保から引いていた項目については4月以降国保診療報酬からの引去りとなります。

2. 国保診療報酬からの引去り

従来より引去りしていた会費などに、社保から引いていた項目を合算して引去りします。

なお、引去り金額の明細については下記「3.引去りの額のお知らせ方法」のとおり、圧着ハガキにて毎月月末にお知らせします。

3. 引去り額のお知らせ方法

北海道国民健康保険団体連合会から毎月送付される「診療報酬等振込明細通知書」の左下に、引去りの総額を掲載します（下記の表のようになります）。その内訳（明細）については、従来圧着ハガキでお送りしていた「社保診療報酬引去明細書」の様式を一部変更してお知らせします。

控除額 内 訳	ホッカイドウ イシカイコウジョ								

ここに引去り総額が記載されます。

4. お問い合わせ先

北海道医師会「会員課」

電話：011-231-1434

Eメール：kaiin@office.hokkaido.med.or.jp

## お知らせ

フレッツによる接続サービスのご案内  
北海道医師会情報ネットワークシステム

◇情報政策部◇

## フレッツによる接続サービス

北海道医師会では、平成14年2月8日から、NTT東日本のフレッツ（インターネット通信料定額）サービスによる接続を開始しました。

フレッツサービスの詳細ならびに提供エリアについては、次のNTT東日本のホームページをご覧ください。

URL : <http://www.ntt-east.co.jp/flets/>

## ※通信速度の上限について

「フレッツ・ISDN」と「フレッツ・ADSL 1.5Mタイプ」は、通信速度の制限が無くご使用いただけますが、「フレッツ・ADSL 8Mタイプ」、「フレッツ・ADSL モア（12M）タイプ」ならびに「Bフレッツ」の全てのタイプについては、通信速度の上限が1.5Mbpsとなります。

この制限は、本会とNTT東日本を接続するための「フレッツ・オフィス」のサービスタイプによるものです

## 利用申込方法

1. すでに、北海道医師会のインターネット接続サービスを利用している（ダイヤルアップ接続申込み済）。

①すでに、他プロバイダでフレッツ（フレッツISDN、フレッツADSL、Bフレッツ）を使用している。

申込先アドレス：

[flets-1@office.hokkaido.med.or.jp](mailto:flets-1@office.hokkaido.med.or.jp)

本会で新規に発行するフレッツ用IDをご使用いただくだけで、本会に接続することができます。

別記の申込先アドレスへ、メールにより、次の内容をお知らせください。

・ダイヤルアップ接続（PPP）のID

・ご利用のフレッツ種別

折り返し、フレッツ用のIDをメールでお知らせいたします。

②まだ、フレッツを使用していないので、NTT東日本へ申し込まなければならない。

申込先アドレス：

[flets-2@office.hokkaido.med.or.jp](mailto:flets-2@office.hokkaido.med.or.jp)

本会を経由して、NTT東日本にフレッツ利用の希望を連絡しますので、別記の申込先アドレスへ、メールにより、次の内容をお知らせください。後日、NTT東日本の担当者よりご連絡いたします。

・ご氏名

・ダイヤルアップ接続（PPP）のID

・ご利用を希望するフレッツ種別

・フレッツを利用する場所の電話番号

フレッツのサービス開始までに、フレッツ用のIDをメールでお知らせいたします。

2. まだ、北海道医師会のインターネット接続サービスを利用していない。

本誌において別にご案内している「ダイヤルアップ接続申込書」により登録終了後、前記1.に従い、お申し込みください。

なお、ご不明の点がございましたら北海道医師会事業第一課（TEL011-231-1725）宛ご連絡下さい。

○申込先アドレス

・1—①の場合：

[flets-1@office.hokkaido.med.or.jp](mailto:flets-1@office.hokkaido.med.or.jp)

・1—②の場合：

[flets-2@office.hokkaido.med.or.jp](mailto:flets-2@office.hokkaido.med.or.jp)